

ビル業界 紳士録

①生年月日②出身地③最終学歴④職歴⑤信条⑥趣味

新築・リノベーション



棚橋 龍彦氏
代表取締役

★データ

①1977年②岐阜県瑞穂市③専門学校卒業④なし⑤-⑥食事

★プロフィール

親子2代に渡って住宅づく

くり。20歳の時に父のもとで大工修行を開始し、以降経験を積んで実績を積み、現場仕事から裏方のバックアップまで、円滑なコミュニティ形成を目標に務めてきた。

★会社メモ

1966年4月に棚橋建設を設立。96年にタナハシ大福建築に変更。2018年にリノベーション事業を新規で立ち上げ、同時に社名も現在へ変更した。建築工事・修繕から新築、リフォーム、アパート・マンション等のリノベーションも得意とする。

不動産テック



江口 亮介氏
CEO

★データ

①1989年7月4日②東京③慶應義塾大学経済学部④12年4月リクルート(住宅事業部)→17年1月McKinsey & Company→19年4月TERASS創業⑤

有言実行⑥ゴルフ・料理

★プロフィール

リクルートにて不動産領域を担当。マッキンゼーアンドカンパニーを経て、不動産業界の問題点を解決すべく19年にTERASSを立ち上げた。

★会社メモ

不動産仲介領域のDXをおこなう不動産テックスタートアップ。個人不動産エージェントファーム「Terrass Agent」、家探しマッチングサイト「Agently」を運営。

不動産鑑定士



中田 敏之氏
代表

★データ

①1977年②兵庫県③大学卒④システム開発会社→鑑定機関→独立⑤一期一会⑥アウトドア

★プロフィール

就職氷河期時代に電機メーカー系にエンジニアとして就職。海外向け基幹業務システムの開発を担当。その後街づくりで惹かれ不動産鑑定士を目指す。試験合格後、リーマンショック直後の混乱の中、不動産鑑定機関に就職。10年間勤務した後、不動産鑑定士として独立。

★会社メモ

千葉市に拠点を構える不動産鑑定事務所。都心の超大型収益ビルから、地方の山林農地まで、様々な不動産の評価に対応。

ソフトウェア開発



高村 徳明氏
副社長

★データ

①1962年②新潟県南魚沼市③国士舘大学経済学部卒業④2016年APC Japan。シスコシステムズを経てリタール代表取締役社長。2014年シュナイダーエ

レクトリック・アジアパシフィックアジア太平洋地区ITビジネス副社長⑤そなえよつねに⑥ディンギーセーリング、SUP

★プロフィール

ソフトウェア協会顔認証ビジネス研究会主査。マサチューセッツ工科大学スローンスクールAI Implications for Business Strategy修了。

★会社メモ

米国本社日本人。AI顔認証「SAFR®」開発。

ビルオーナーの広場

マンション開発で

である都動産賃貸業に転換し、菅大江戸。港区東麻布に所有線「赤羽」する「菅沼ビル」には「橋」駅周通信関連や貿易関連の辺はオフ企業が中心にテナントイスビルが入居中で、菅沼義二やマンション社長は「テナントの入」が建替わりはこの10年でち並ぶほ1件しかありません」か、裏路と話す。

地に入れ「このエリアで鉄道は古くかが開通したのは最近のらの低層こと。それまでは車で住宅が数の移動が当たり前で、多く残テナント企業は営業用り、昼間の車両が必須でした。人口・夜当時のオフィスビルは間人口と駐車場の収容台数で人にも多い気が分かれましたが、エリア交通インフラが整備さだ。菅沼されたことで状況が変化ビル(東しました)。(菅沼氏)

発明学会



会長
中本 繁実氏

やってくる。さて、部分をはずすことな毎年恒例の「身近く、ポトル内部へ補なヒント発明展」は今年で第25回。の。優秀賞は「反転1次審査を通過しハンガー」に「新幹線112点が10月線用ハンガー」、同ビル内で開催「ダンボール穴あけ新宿区の都営新宿された展示会でお披露目されたが、先日、リング発射砲遊具」から徒歩数分の「発明審査結果が発表され学会ビル」はビル名。発明学会大賞はの通り、発明学会が「葉々つめかえポトル」。「シャンプーなせる工夫の逸品ぞろテナント貸フロアのどのポトルのポンプいで見ているだけでほかは同協会のイベ蓋の部分が開閉式にも楽しい。近い将来に利用し、多くなっており、わざわざに店頭でお目にかかの発明家の卵たちがざノズルのついた蓋るものではない。

身近な発明展の大賞は？

介なものだ。誰からも不満が出ないことが理想だが、これが何と難儀なことか。介護の寄与分、生前贈与があるとかないとか、相続人の配偶者が権利を主張することも。兄は大学の費用も親がかりだが自分はゼロ、だからその分遺産増額は当然だ、いや結婚費用も自分ももらって

損しない! モメない!

実家の不動産相続のヒケツ

今週の二冊

いらないな生存していれば、そのど、思いつか。遺体の肉と骨はく限りの主簡単に切り離せる。務化、どれだけ御存張をする。一旦離れたら二度とじか。本書で基本をそれにしてくつつかない。相続身に付けておこう。

も「骨肉の争い」とは、動産の基礎的な情報よく言ったを丁寧に解説。顧客もものだ。相の情報不足に漬けた連続争いもみ、「自社利益を優とで絶縁に先する様々な専門家の珍しくなめ、存在するのは事珍しくなめ、存在するのは事い。骨と肉実」といい、正しいは離せない知識を持つことで専ことから、門家に騙されるリスク決して消えくも回避できると、ない血縁を知識によるトラブル骨肉と表現回避を進める。家族するそうだ。信託「配偶者居住権」が、それは生前贈与3年ルール、名寄帳、2024年から相続登記義務化、どれだけ御存張をする。一旦離れたら二度とじか。本書で基本をそれにしてくつつかない。相続身に付けておこう。